

宇治田原町 議会だより

No. 78
2014.2.1



《目次》

- 12月定例会…………… 2P
- 一般質問…………… 4P
- 研修報告…………… 14P
- インタビュー（西野 聡さん）… 15P

速やかな対応を



3月中には全線開通が予定されている国道307号(岩山)復旧工事

平成25年第4回定例会は、12月6日から24日まで開催した。予算関係3件(補正)、条例関係2件(改正)が提案され、原案通り全会一致で可決した。
また、一般質問には9人の議員がたち、全員が「一問一答」方式で活発な議論を展開した。最終日には、台風18号による災害の対応状況が報告された。

被害の対応状況

H25年12月24日現在

区分	件数	実施済	進捗率
道路	44件	34件	77.3%
河川	27件	11件	40.7%
農地	32件	0件	0.0%
農業用施設	14件	5件	35.7%
林道	9件	5件	55.6%

昨年9月16日未明に発生した台風18号による本町における被害及び対応状況は左記のとおり。

※農地・農業用施設については、国の災害認定を受け、実施設計等を行い事業実施となることから進捗率が低くなっている。

第1回臨時会

平成25年第1回臨時会は、11月12日に招集され会期を1日とした。人事案件(教育委員)に全会一致で同意した。

人事案件

○教育委員会委員の任命同意



山本 薫 氏
(岩山)

任期 平成25年11月26日～平成29年11月25日

【同意 全員賛成】

台風18号被害の

一般会計の補正の主なものは、児童手当支給事業（509万円）、老人医療費支給事業（351万円）、京都府知事選挙執行費（300万円）など。国保会計の補正については、国保加入者や医療費の増加によるもの。

(千円以下切捨て)

補正予算特別委員会

一般会計

国保会計

会計予算名	補正額	補正後の総額	審議結果
一般会計	1,838万円	41億1,871万円	可決 全員賛成
国保会計	9,160万円	11億4,876万円	可決 全員賛成
奥山田簡易水道会計	40万円	6,187万円	可決 全員賛成



今後、整備予定の主要町道（湯屋谷）

【質問】
町民税及び固定資産税の決算及び留保分についての見込み額は。

【答 弁】

個人町民税約4億3千万円、留保1千万円近い額を見込んでいます。法人町民税では現計予算に近い

【質問】
い決算額、固定資産税では約8億7千万円の決算見込みを立てている。

【質問】

繰越明許費であがっている「主要町道（郷之口ー湯屋谷線）新設改良事業費」の国の交付金及び、用地買収の進捗状況は。

【答 弁】

交付金は内示を受けている。用地買収は対象の8件中7件まで完了、残り1件もほぼ合意に達している。

【質問】

医療費増加の要因について分析をし、健全化計画に反映されているか。

また、今年度の決算見込みは。

【答 弁】

要因分析を行っている。決算見込みについては、未確定であるが、今年度の累積赤字は6千600万円を見込んでいます。

文教厚生常任委員会

介護保険料
延滞金の引き下げ

【質問】

滞納者が介護サービスを受ける場合、ペナルティーがあるが、状況はどうか。

【答 弁】

滞納者には介護サービスに給付制限がかかる。介護保険の趣旨を理解いただき、滞納分

の支払いを勧奨している。

【可決 全員賛成】

後期高齢者医療
延滞金の引き下げ

【質問】

保険料の滞納者数は何人ぐらいか。

【答 弁】

10名程度。内、居所不明が2名。

【可決 全員賛成】

12月定例会

一般質問

ズバリ! 町政を問う

12月12日 午前10時～



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	件名
1	山内実貴子	1. 防災・減災対策 2. がん検診受診率向上対策 3. 町広報掲示板の活用
2	今西久美子	1. 消費税増税 2. 水道料金体系の見直し 3. 防災対策
3	上林昌三	1. 市町村合併
4	稲石義一	1. 平成26年度予算編成 2. 役場庁舎改修事業の方針転換
5	谷口重和	1. 庁舎問題 2. 宇治田原山手線 3. 産業振興 4. 保育所の安全対策

	質問者	件名
6	垣内秋弘	1. 平成26年度予算編成 2. 台風18号の被害対応 3. 「山手線」今後の取り組み
7	青山美義	1. 災害対策
8	内田文夫	1. 小中一貫教育 2. 公共交通対策
9	原田周一	1. 通学路の安全対策 2. 学校別成績の公表 3. 山手線 4. 病児保育

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴のためには本会議当日に町役場2階総務課で受付をしていただきます。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。

防災訓練の今後は

【答】関係機関と連携を図る訓練も検討



山内実貴子
議員

【質問】

11月10日に行われた田原小学校区の防災訓練の成果や課題は。また、今後の進め方は。

【答 弁(総務課長)】

今回の防災訓練は、900人の住民参加と

なった。避難情報の伝達・避難誘導・実践的な訓練等、本町の防災力向上につながった。今後は京都府警・自衛隊等、町外関係機関との連携等を図る訓練の実施を検討する。

【質問】

避難所内部の安全対策は。

【答 弁(総務課長)】

自主防災会への補助金とあわせ検討していきたい。

【質問】

自主防災会の活動に向け、相互の情報交換

ができる体制を町が持つべきでは。

【答 弁(総務課長)】

地域自主防災会等連絡協議会を開催し、地域防災力の向上・情報交換を

図っている。また、地域防災の担い手を育成していくことが重要と考え、防災士の育成を独自で支援している。

がん検診の見直しと無料化を

【答】無料化による実績をふまえて検診

【質問】

がん検診の受診率向上のため、血液検査で簡単に行える前立腺がんの検診も含め、がん検診の見直しと無料化を行うべきでは。

【答 弁(健康長寿課長)】

受診者の受診日程に合った個別検診、前立腺

がんの検診の導入も含め、近隣自治体の無料化による実績を踏まえ、受診率向上の一策として検討する。

【質問】

受診の案内をした人が

受診していない場合に、手紙や電話などで改めて受診勧奨をする、コール・

リコールの積極的な導入を。

【答 弁(健康長寿課長)】

節目のがん検診事業の乳がん検診の対象者のうち、未受診者に個別に郵送による受診勧奨を行う

ている。個別の受診勧奨は有効な手段であり、受診率向上につながるもの。しかし、電話での受診勧奨は今後の検討課題であると考える。

町広報掲示板の有効活用を

【答】地域とともに活用を進めたい

【質問】

まちをきれいにするためのボランティアの方の活動や、町の行事、健康対策事業など、もつと目につきやすい所に広報すべきと考え

紙やホームページの充実を図り、広報板の活用に向けて、地域とともに進めていきたい。

【答 弁(総務課長)】

広報掲示板の点検・維持管理に努める中、今後とも広報



防災訓練



町広報板

消費税増税中止を求めよ

【答】地方の意見を主張していく



今西久美子
議員

【質問】

安倍首相が決めた消費

税の引き上げ時期につい

て、町長の認識は。

【答弁(町長)】

適切な時期を選択され
たと考えている。

【質問】

「適切な時期を選択さ
れた」というのは、全く
住民の感覚とずれてい
る。どの世論調査でも約

8割が景気の回復を実感
していない。町内の小売

商店の「増税されたら、
もう店をたたむしかな
い」との声は町長には届

いていないのか。

住民の暮らし、町の財
政を守るためにも、政府

に対し、4月からの消費

税増税中止を求めよ。

【答 弁(町長)】

地域経済対策をしっか

りとやっていくことな

ど、国に対してあらゆる

機会を捉えて地方の意見

をしっかりと主張してい

く必要がある。消費税引

き上げについては住民へ

の影響等、十分留意して

いく。

水道料金体系の見直しを

【答】使用量に見合った料金体系とする

【質問】

水道の基本水量の引き

下げ、節水が料金に反映

される料金体系につい

て、どのように検証、検

討したのか。

【答 弁(町長)】

使用者の節水が料金に

反映されるよう、使用し

た水量に見

合った料金体

系を基本と考

えている。

【質問】

消費税の増

税分を安易

に水道料金に転嫁し、値

上げすることがないよう

に、町の努力を。

【答弁(町長)】

消費税法改正の趣旨

や、「適正な転嫁を基本

に」との国からの通知を

踏まえ、消費税分の引き

上げを行う予定である。

【意見】

まさに国の言いなりで

はないか。住民生活に大

きな影響を及ぼす消費税

は、軽々に転嫁すべきで

はない。

災害を教訓に防災対策の強化を

【答】引き続き検証していく

【答弁(総務課長)】

情報伝達は、1つの手
段でなく複数用い、住民
の命・安全を守ることを
基本に、引き続き検証し
ていく。防災訓練につい
ては、いろいろな想定のも
と、引き続き住民参加
型の訓練を実施する。

【質問】

高齢者や障がい者、妊
婦など、災害時に特別に
支援を要する方のための
福祉避難所の現状は。

【答弁(福祉課長)】

現在、やすらぎ荘と保
健センターの2施設とし
ており、生活物資の備蓄
等の整備に努めている。

今後は、民間社会福祉
施設との協定も視野に入
れ、整備に取り組む。



避難訓練の様子(11月10日)

【質問】

最近の台風や大雨によ
る災害を教訓とし、避難
準備情報や避難勧告がき
ちんと住民に周知される
よう、伝達系統の見直し
と、安全を確保する避難
の仕方についての徹底し
た訓練の実施を。

今後市町村合併が再燃したら

【答】 他市町からの話もなく、現在は白紙



高尾から宇治田原町を望む



上林昌三 議員

【質問】

「平成の大合併」と称して国の合併特例法のもと、全国的に各地方で合併が実施された。平成14年宇治・城陽・久世・綴喜7市町協議の頓挫に続き、平成18年7月10日、当時の城陽市長の呼びかけでスタートした木津川右岸2市2町の枠組みの中で仕切り直しとなった合併任意協議会も法定協議会へ移行することなく、さまざまな経緯があり、わずか1年余りで破たんし、今日に至る。このたび城陽市長、本町町長も新しくなったこともあり、将来的な町づく

りを考えたとき市町村合併は最大の行政改革であるとの観点から推進する意見もあるが、財政基盤の「格差」が見え隠れし、合併は住民サービスの低下を招くことになると思うため、自身は賛成できない。今後、合併問題が再燃することを視野に入れた町長の考えは。

【答 弁（町長）】

合併案は今のところなく、本町に対し何の働きかけもないことから、市町村合併に関する考えとしては、全く白紙である。今後は、第4次まちづくり総合計画に位置付けているまちの将来像「心をつなぎ ともに創る 茶文化のまち」の実現に向けた取り組みを進めていきたい。

【意見】

国において議論がされている一方で、制度の実態が見えてこない「道州制」について、今の都道府県を10程度の道や州に移行すると同時に、過去、全国に3300の市町村があったものが「平成の大合併」により、現在は1700余りとなり、さらに市町村を600程度まで減らすべきとの考えもあるが、私は、全国一斉の市町村合併の推進は「平成の市町村合併」をもって最後にすべきだと考える。なぜなら、さらなる市町村の再編で小規模な基礎自治体が有する特性や地域性が活かされるか極めて疑問だからである。今後、権限移譲によって地方自治体の仕組みはどうなるのか、地方議会が果たす役割の変化など課題となるが、忘れてはならないことは「住民本位」の議論から逸脱してはいけないということである。



役場庁舎

役場庁舎「移転新築」を

【答】新庁舎整備に取り組み決意を固めた

【質問】

建築後54年が経過した役場庁舎について、歴史的・文化的価値の高

い建造物で保存しなければならぬというならば、もかく、耐震性やバリアフリーの点で問題の



稲石 義一
議員

ある老朽化著しい庁舎を、坪単価97万円、総額5億4千400万円もの巨額の費用を投じて改修する意味が、全く理解できない。住民の生命・財産を守るという行政の最大の使命を果たす観点から、安心安全を最大限担保できる庁舎を移転新築する方向へ方針転換すべきでは。

【答 弁(町長)】

今回の改修工事は、敷地条件や工法に様々な制約があり少し無理を感じる。事業費も当初の見積額から大きく膨らんでおり、工期も2年半。庁舎の拡張はかなわず、防

災機能の付加も難しいほか、仮設工事期間中は住民に多大な不便をかける。さらに、田原川堤防下にある現庁舎では、豪雨時に災害対策本部機能が果たせない状況に陥る心配がある。このため、災害防災施設の整備をはじめ、将来の街づくりの拠点にふさわしい庁舎として、改修よりも新庁舎整備に向け取り組む決意を固めたところである。

府内で最下位にある決算規模を、せめて町村平均並みに予算規模を4億円膨らませ、各種事業の充実を図らなければならぬが、職員数と組織・機構がそれに対応できていない状況にある。そこで、予算、定数、組織・機構の宇治田原版『三位一体改革』が必要では。

【答】見直し・検討する

宇治田原版「三位一体改革」を

	普通会計決算額(A)	標準財政規模(B)	A/B
福知山市	40,896,259	23,773,849	1.72
舞鶴市	34,796,132	20,085,203	1.73
綾部市	15,894,591	9,611,672	1.65
宇治市	60,283,229	33,710,203	1.79
宮津市	11,926,324	6,450,448	1.85
亀岡市	32,809,597	18,377,285	1.79
城陽市	25,612,601	14,515,554	1.76
向日市	16,947,850	10,304,853	1.64
長岡京市	24,903,317	15,020,406	1.66
八幡市	24,659,160	14,204,232	1.74
京田辺市	20,971,628	13,341,074	1.57
京丹後市	33,109,205	20,768,885	1.59
南丹市	22,893,534	14,780,303	1.55
木津川市	23,831,157	15,853,069	1.50
大山崎町	5,635,786	3,604,286	1.56
久御山町	6,622,092	4,464,479	1.48
井手町	3,566,798	2,645,562	1.35
宇治田原町	3,714,066	2,755,485	1.35
笠置町	1,315,989	874,714	1.50
和束町	3,032,475	2,148,548	1.41
精華町	11,847,287	7,670,632	1.54
南山城村	2,433,086	1,710,014	1.42
京丹波町	11,262,466	7,372,818	1.53
伊根町	2,642,654	1,613,307	1.64
与謝野町	11,609,301	7,557,027	1.54
14市計	389,534,584	230,797,036	1.69
町村計	63,682,000	42,416,872	1.50
市町村計	453,216,584	273,213,908	1.66

平成23年度府内市町村普通会計決算状況(単位:千円)

【質問】

府内で最下位にある決算規模を、せめて町村平均並みに予算規模を4億円膨らませ、各種事業の充実を図らなければならぬが、職員数と組織・機構がそれに対応できていない状況にある。そこで、予算、定数、組織・機構の宇治田原版『三位一体改革』が必要では。

【答 弁(町長)】

規模が類似する地方自治体の財政指標も参照しつつ、より住民視点に立った行政サービスが提供できるように、適切な財政規模での予算充実を図るとともに、職員定数、組織・機構についても早急により良い組織の実現に向けて取り組みたい。

「役場庁舎新築」イエスかノーか

【答】新庁舎の整備に向け取り組み



谷口重和
議員

【質問】

東南海巨大地震や今年多発している風水害について色々質問をし、特に庁舎問題では強く新庁舎と防災センターの建設

を求めてきた。6月議会で町長は、本年度中に方向性を出すと答弁していたが、新築に対してイエスか、ノーか。

【答 弁(町長)】

必要な防

災機能を有した施設等々を総合的に判断し、本町にふさわしい新庁舎の整備に向け取り組み組んでいきたい。

山手線は名ばかりで終わるのか

【答】府や国に支援を求めてきた

【質問】

9月議会では、ネクスコで新市街地を除き未整備区間4・2kmの概略設計の着手、3カ所のボーリング調査も近々完了予定、沿道の土地調査については委託業務を発注するとしていたが、11月のネクスコの説明では緑苑坂の約1・2kmしか工事用道路として整備しないという回答であった。山

手線は名ばかりで終わるのか。ネクスコの協力が得られない今、早期実現

【答 弁(町長)】

従前より道路整備全般にわたり要望してきたが、山手線に絞った要望を府に行うと共に、直接、実情を訴え、国に対しても支援を要請してきた。今後、オール宇治田原で促進していかなければならないと考える。

商工・観光にもっと支援と補助を

【答】さらなる充実のため研究・検討

【質問】

一次産業の手厚い保護だけでなく、二次産業も町独自で資金援助、補助

も商工観光分野の専任職員が配置が急務と思われるが。

をしていくべきであり、今後諸外国の物産展にも

【答 弁(町長)】

商工会や企業と連携を密にして参加するとともに、充実強化の意味から

商工観光の業務は課員で役割分担をしているが、今後町将来の商工観光の充実を図れる組織体制を研究・検討していく。

保育所の安全対策強化を

【答】保護者カード、モニター設置など検討

【質問】

保育所の出入り口は、シルバーやボランティア

ターホンでの対応、面会が必要と思うが。

の方にお世話になつているのが現状で、今日まで

【答 弁(福祉課長)】

無事にきているが、危険人物が入所すれば大変な事態になりかねない。入門カードの明示やイン

設置するなど、来訪者を把握できる設備等の対応を早急に検討していく。



役場庁舎

予算編成の考え方・重点施策は

【答】第4次まちづくり総計を着実に推進

取捨選択し取組みたい。

【質問】

西谷町長が就任して以

来、初の予算編成となる。

より効果的な財政出動を

図りながら西谷カラーを

全面に出した予算編成の

策定が注目されるが、基

本的な考え方と重点施策

について町長の考えは。

【答 弁 (町長)】

考え方は総合計画にも

とづき、政策経費の重点

配分を進めたい。また、

①安心・安全対策

②まちづくり・成長基盤

整備対策

③産業・観光振興対策

④福祉・健康長寿対策

⑤教育対策

を重点施策として適切に

【質問】

平成26年4月から消

費税が8%に増税される

が、内枠の地方消費税も

1.7%になると予想さ

れ、交付税そのものも変

動するが本町への影響

は。また、本町の課税対

象事業の料金改定は。

【答 弁 (町長)】

増収見込みについて

は、約3千800万円、

歳出での経費負担で約

3千200万円と推定し

ている。課税対象事業の

上下水道料金は適切な転

嫁を基本に消費税の引き

上げ分を反映したいと考

えている。

台風18号の被害対策早期実施を

【答】早期着手にむけ取り組む

【質問】

台風18号は激甚災害に

も指定され甚大な被害が

発生した。現在307号

は片側通行になっている

が全面開通の見通しは。

また、多岐にわたって発

生している被害の全容と

査定及び対策の進捗状況

ならびに補助率は。

【答 弁 (建設課長)】

国道307号は3月中

の復旧完成をめざし取り

組んでいた。また、

河川(60カ所)は京都府

単費と公共土木災害の整



垣内秋弘 議員

理ができ、査定を受けて本格的修復作業に着手される。また、町関係施設では公共土木(71件)実施率63%、産業振興施設(55件)実施率18%、教育(1件)未実施、水道(7カ所)実施率57%であり、未着手箇所は早期に対応して取り組む。また、農地等の災害に係る補助金はまだ明らかになっていないが、9割の補助率を境に地元負担が変動する。ま

た、二次災害防止に努め、安全の確保を第一に鋭意実施していきたいと考えている。

山手線の今後のさらなる取り組みは

【答】京都府と鋭意協議を行う

【質問】

新名神の工事用道路と

して、ネクスコが手掛け

る一部の区間を除き、残

り区間を早急に進めるた

めには行政と住民が一体

となった取り組み(署名

等)を提起するが、町長

の考えは。

【答 弁 (町長)】

私が先頭に立ち、本町に係る皆様方のすべての声を、オール宇治田原で促進していくため、住民の力強い支援を賜りたい。



山手線

災害を未然に防ぐ対策を

【答】関係機関と協議し、検討する



青山美義
議員

【質問】

9月の台風の豪雨で、間伐材が流木として川や道路に流れ出た。地域住民の安心・安全、防災面からも、木を切り倒すだけでなく、整理整頓はもちろんのこと、今後間伐

の排出のときに、いままでは予算がないから刈りっぱなしで置かれていた。来年度に予算を計上をしては。

【答 弁(産業振興課長)】

【答 弁(町長)】

京都府や森林組合など、関係機関と間伐材の

処分のあり方について十分協議する中で、災害に強い森林づくりができるよう研究するとともに、森林組合等にも指導していく。

【答 弁(建設課長)】

今回の豪雨で護岸が損壊し、水田被害が拡大した。堆積物のしゅんせつ対策についてどう考えているのか。

【質問】

【答 弁(建設課長)】

本町の河川に関して、具体的な整備計画がない状況で、被災があれば対応するというのが現状である。京都府に対し、引き続き河川整備についてお願いしていく。また、町管理河川については、新年度以降に必要な予算を検討したい。

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【質問】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】

【答 弁(建設課長)】



間伐材が流出した道路



護岸が損壊した河川

通勤・通学の利便性向上策は

【答】バス停整備を検討

に乗るために利用する京

【質問】

私が、JR奈良線複線化協議会からの離脱を勧告した際、町は通勤・通学者の利便性を図るためだと答えられた。では、その通勤・通学者がJR

阪宇治バスの将来については、どう判断されているのか。また、利便性とは、時間短縮の問題だけでなく、快適度も加味し得る要因として、バス停

留所を早急に整備する必要があると思うが、どうか。

【答 弁(企画課長)】

路線バスの将来予測は、負の要素が多く、予

測不能で、廢路に直面の時は来れば対応したい。バス停については、現在

屋根整備がされていない所は、整備を検討中である。



内田 文夫
議員

小中一貫教育の周知説明は

【答】周知説明の機会を設ける

【質問】

小中一貫教育に関する先般のアンケート結果から読み取れるのは、周知説明のていねいさの不足によるところが多い。他方、中1ギャップの認識にいたる経過も必ずしも正確でないと思慮するところが見受けられる。

現在進めている小中連携の要因の最初に、長い間

いじめ・不登校・学力向上など多くの課題を指摘されながら何も変わらな。学校と教職員の意識の改革が必要であるとの認識をもって、それを基礎学力にしていきたいので、小中連携の拡充の声



維孝館中学校

が強まり、小中一貫教育に進展できるよう願いたいと思うが、どうか。

【答 弁(教育長)】

小中一貫教育に関する周知説明不足は真摯に受け止めており、今後十分な説明の機会を設ける中で理解を深めていただくよう努めていく。

また進める上において、教員の意識改革が鍵

であるとの認識をもって、重要な問題であり、拙速にならないよう、十分な議論をいただく中で進めていきたい。

学力テストの公表・非公表は

【答】近隣の動向を見て判断したい

【質問】

文部科学省は、全国学力テストの学校別成績の公表を解禁するとした。学校の競争の過熱や、不正行為などから、現在教育委員会による公表を禁じているが、今回それを大きく方針転換し、市

町村教育委員会の判断で

公表できる内容になっている。公表・非公表については、今後十分な議論が必要と思うが、どう対応するのか。

【答 弁（教育次長）】

公表方法は、学校と事前に相談するなどが挙げ



原田周一
議員

次期まちづくり計画への影響は

【答】基本構想は計画全体を見直す

られているが、本町の状況からして、さらなる検討を要すると認識してい

る。近隣教育委員会の動向を見ながら、判断したい。

【質問】

山手線全線開通については、国道307号より南側分について、新名神工用道路としての利用が見込めないとの公表を受け、第4次まちづくり総合計画は、目標平成32年とする基本構想の基に策定された計画で、次期第5次まちづくり計画への影響、また見直しは。

【答 弁（建設課長）】

整備に当たっては、道路だけでなく、地域の活性化に寄与する土地利用の誘導が必要。

【答 弁（企画課長）】

基本計画は来年度から2年間をかけ、新たな計画を策定する予定。基本構想は、計画期間終了まで7年あるが社会情勢が大きく変化しているため計画全体を見直す。

病児・病後児保育の実施を

【答】「子ども子育て会議」で検討



保育所（あゆみのその）

【質問】

保育中の発熱・急病などが発生した場合、現状での対応は。

【答 弁（福祉課長）】

看護師1名を雇用し処置の上、保護者へ連絡。症状により保育継続か引渡しかなど保護者と相談している。

【答 弁（福祉課長）】

働く保護者にとって、病児・病後児保育のニーズは非常に高い状況。今後の取り組みは。

【質問】

昨今の社会情勢から、

度からスタートする「子ども・子育て会議」の中で、方向性や実施内容を明らかにしていく。



授業の様子

小中一貫教育 施設分離型の千里みらい学園を視察

大阪府吹田市

文教厚生常任委員会は、平成25年10月25日、施設分離型の小中一貫教育校の取り組みとして、大阪府吹田市の千里みらい夢学園を視察研修した。

吹田市の小中一貫教育 リーディングスクール

吹田車で、初めて設置された小中一貫教育校 中学校の教職員がお互いの良さを活かして指導方針をひとつにし、9年間「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」の育成をめざし、系統的・継続的な教育活動を進

めている。

「15歳の学力」に責任を持つ取り組みを進め、吹田市の小中一貫教育のリーディングスクールとして他の17ブロックへ発信している。

平成23年4月開校の同学園は、1中2小（竹見台中学校・桃山台小学校・千里たけみ小学校）で構成されている。

育活動を進

千里みらい学園での研修

育活動を進

みらい夢プラン 5・2・2システム



中学校での小6の授業

中1年は連続性を意識した指導、中2・中3年は進路を見すえた指導を行う。

特色として英語教育の充実があげられ、小1年生から英語活動を実施。AE

T（英語指導助手）を年間配置し、生きた英語を学ぶ。同校は、文部科学省から教育課程特例校の指定を受けている。

小6年生は原則毎週金曜日、竹見台中学校に登校し、1日を過ごす。授業は、50分×6時限とし、小・中の教員によるティームティーチング等

の学習や、読書活動の推進、9年間を見すえた道徳教育の充実、一貫性のある生徒指導も行う。

キャリア教育の一環として、公立高校や私立高校とも連携。地域の学びの場として、子どもと大人が共に学べる学習活動の場を提供し、アカデミック・スペースをめぐす。

宇治田原町においても、小中一貫教育を検討する中、同学園と同じく西川京産大教授に関わっていた。今回の研修で、小学校から中学校への移行期が子どもたちにとって、素敵な段差であることを願い、権利としての義務教育の時期をたいせつに、意欲的に過ごせるよう推進していきたいと感じた。

「学ぼう・つながろう・やりぬこう」を教育目標に、9年間を見通した教育カリキュラムの研究を通して、児童・生徒のコミュニケーション力を育成する。

また9年間を5・2・2の3つのユニットで構成。小1から小5年は基礎・基本の徹底、小6・

新成人代表

にし の さとし
西野 聡 さん



「フランスなど海外において、お茶ブームになっているため、得意な英語力を生かして、将来はふるさと宇治田原の架け橋になりたい」と力強く語ってくれた西野 聡さんにお聞きしました。

Q) 成人式を迎えての感想は

A) 従来、両親をはじめ、恩師・地域の人々などのサポートがあったが、今後は、自分で責任を持って行動したい。

Q) 夢または将来挑戦してみたいことは

A) 府内の高校1年生終了時、英語の勉強がしたくて、ニュージーランドの高校へ編入入学し、リッチモンドで2年間の学校生活を過

ごした経験から、英語を生かした職業につきたい。ふるさと宇治田原のお茶が海外でもっと浸透するよう、商社などに勤めて、その一翼を担いたい。

Q) リッチモンドの印象は

A) 自然が多くのおのびりとした町で、ふるさと宇治田原とよく似た町です。
大きな違いは、人間よりも羊が多い事かな。

Q) 選挙権が与えられましたが

A) 将来の年金受給や国の借金問題など課題が多い。今後は自分たちの時代になってくるので、次世代につながるような投票行動をとりたい。

Q) これからの宇治田原町に望むことは

A) 若い人たちが町外へ移住しないよう、利便性の良いまちづくりをお願いしたい。



模擬投票



今号の表紙

田原小学校で数年ぶりに「とんど」が行われました。子どもたちが書いた習字が高く舞い上がり、大きな歓声が沸き起こりました。

編集後記

1月13日は、成人の日。東日本大震災の被災地、浪江町の成人式で「大きな試練を乗り越えた私たちだからこそできることがある。浪江町に戻り、まちづくりをした」と力強く生きていくことを誓った居村知生さん。

宇治田原町では、今年もふくしまつこを招こうと、新成人3人が「茶ッピー×ふくしまつこ未来基金」の取り組みをスタートさせました。若い人たちがまちづくりにかかわる、すばらしいことですね。

まだまだ寒い日が続きます。お身体ご自愛ください。ぜひ、ご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集委員 今西